

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2021年 1月29日

【会社名】 アズワン株式会社

【英訳名】 AS ONE CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 井内卓嗣

【本店の所在の場所】 大阪市西区江戸堀二丁目1番27号

【電話番号】 06(6447)1210

【事務連絡者氏名】 取締役コーポレート本部長 西川圭介

【最寄りの連絡場所】 大阪市西区江戸堀二丁目1番27号

【電話番号】 06(6447)1210

【事務連絡者氏名】 取締役コーポレート本部長 西川圭介

【縦覧に供する場所】 アズワン株式会社 東京オフィス
(東京都中央区八丁堀二丁目23番1号)
アズワン株式会社 横浜支店
(横浜市港北区新横浜二丁目6番地3)
アズワン株式会社 名古屋支店
(名古屋市中区錦二丁目2番13号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1. 当該事象の発生日

2021年1月29日（取締役会決議日）

2. 当該事象の内容及び損益に与える影響

(1)特別損失の計上について

当社は、2018年3月に当社グループの理化学機器卸としての専門性と株式会社トライアンフ・ニジュウイチが有するWEB 購買業務代行サービスでの強みとを有機的に連携させ、両社のビジネス・ネットワークの融合を図ることで、e コマース分野での新たな付加価値を提供することを目的に同社を連結子会社化し、株式取得時に発生した「のれん」を計上いたしました。しかしながら、コロナ禍によるリモートワークやプロジェクトの遅延等により、これまでの業績が当初見込んでいた計画を下回って推移していることから、今後の事業計画を見直した結果超過収益力を見込むことができなくなったため、連結財務諸表で「のれん」の減損損失として826百万円、個別財務諸表で子会社株式評価損として2,246百万円を計上いたしました。

また、当社が保有する投資有価証券のうち実質価額が著しく低下したものについて投資有価証券評価損を428百万円計上いたしました。

これらにより、2021年3月期第3四半期決算において特別損失として、連結財務諸表で1,254百万円、個別財務諸表で2,675百万円を計上いたしました。

(連結財務諸表の特別損失の内訳)

投資有価証券評価損	428百万円
減損損失	826百万円

(個別財務諸表の特別損失の内訳)

投資有価証券評価損	428百万円
子会社株式評価損	2,246百万円

以 上